

名列番号

名前

神田 隆

1.

(1) 10

(3) 一節入力の電圧 V_i に対する出力電圧 V_0 の関係 (定数) より $V_0 = A(0 - V_i) = -AV_i$... ①

本論の仮定より

$$I = \frac{V_i - V_0}{R_i} = \frac{V_i - V_0}{R_f} \quad \text{--- ②}$$

②より

$$V_i \left(1 + \frac{R_f}{R_i}\right) = V_0 + \frac{R_f}{R_i} V_i$$

よって

$$-\frac{1}{A} \left(1 + \frac{R_f}{R_i}\right) V_0 = V_0 + \frac{R_f}{R_i} V_i$$

よって

$$G' = \frac{V_0}{V_i} = -\frac{R_f}{R_i} \cdot \frac{1}{1 + \frac{1}{A} \left(1 + \frac{R_f}{R_i}\right)}$$

(2) 15 本問では、一節入力の電圧 V_i に対する出力電圧 V_0 の関係 (定数) を求める。仮定として、 $V_0 = A(0 - V_i) = -AV_i$ とする。また、本問では、 $R_i = R_1$ 、 $R_f = R_f$ とする。電圧 V_i に対する出力電圧 V_0 の関係 (定数) を求める。 (これはIとV) 本論の仮定より

$$I = \frac{V_i - 0}{R_i} = \frac{0 - V_0}{R_f}$$

よって

$$G = \frac{V_0}{V_i} = -\frac{R_f}{R_i}$$

(4) 5 + 5

$G = 10$ より $\frac{R_f}{R_i} = 10$

$$= 10 + G' = -10 \cdot \frac{1}{1 + \frac{1}{A}} = -\frac{10A}{A+11}$$

$A = 10$ のとき $G' = \frac{100}{21} \approx 5$

$A = 100$ のとき $G' = \frac{-1000}{111} \approx 9$

* 問題に示された、正しく $G = -10$ である。 $\frac{R_f}{R_i} = 10$ とする。 \rightarrow \therefore 本問では上記の通り、生じる。よって $\frac{R_f}{R_i} = -10$ とする。よって $G = -10$ とする。 \therefore 本問では $G = -10$ とする。 \therefore 本問では $G = -10$ とする。 \therefore 本問では $G = -10$ とする。

(5) 10

R_i, R_f の電圧 V_i, V_0 に対する関係 (定数) より $V_0 = A(0 - V_i) = -AV_i$

また、本問では、 $V_0 = A(0 - V_i) = -AV_i$ とする。また、本問では、 $R_i = R_1$ 、 $R_f = R_f$ とする。電圧 V_i に対する出力電圧 V_0 の関係 (定数) を求める。 (これはIとV) 本論の仮定より

$$I_i = \frac{V_i}{R_i}, \quad I_f = \frac{-V_0}{R_f}$$

よって

$$\frac{V_i}{R_i} = I_i - \frac{V_0}{R_f} \quad \therefore V_0 = -\frac{R_f}{R_i} V_i + R_f I_i$$

(5) 10

R_i, R_f の電圧 V_i, V_0 に対する関係 (定数) より $V_0 = A(0 - V_i) = -AV_i$

また、本問では、 $V_0 = A(0 - V_i) = -AV_i$ とする。また、本問では、 $R_i = R_1$ 、 $R_f = R_f$ とする。電圧 V_i に対する出力電圧 V_0 の関係 (定数) を求める。 (これはIとV) 本論の仮定より

$$I_i = \frac{V_i}{R_i}, \quad I_f = \frac{-V_0}{R_f}$$

よって

$$\frac{V_i}{R_i} = I_i - \frac{V_0}{R_f} \quad \therefore V_0 = -\frac{R_f}{R_i} V_i + R_f I_i$$

2.

<p>(1) 反転P二の増幅率 (図12. (1)の回路)</p> <p>⑩ $(R_i \rightarrow \frac{1}{j\omega C_1}, R_f \rightarrow \frac{1}{j\omega C_2} R)$</p> $H = \frac{-\frac{1}{j\omega C_2} R}{\frac{1}{j\omega C_1}} = \frac{-j\omega C_1 R}{1 + j\omega C_2 R}$	<p>(2) (1)より</p> <p>⑤ $H = \frac{\omega C_1 R}{\sqrt{1 + \omega^2 C_2^2 R^2}}$</p> $\arg H = -\tan^{-1} \omega C_2 R$ <p style="text-align: center;">-90°</p>
--	--

(3) ⑤ ②より $\omega_0 = \frac{1}{C_2 R}$ とおくと

$\omega \ll \omega_0$ のとき $|H| \approx \omega C_1 R$
 $\arg H = -90^\circ$

$\omega = \omega_0$ のとき $|H| = \frac{C_1}{C_2} \frac{1}{\sqrt{2}}$
 $\arg H = -135^\circ$

$\omega \gg \omega_0$ のとき $|H| \approx \frac{C_1}{C_2}$
 $\arg H \approx -180^\circ$

以上より、-180°位相逆転の遅延特性を示す。

3.

<p>(1) ①</p>	<p>(2) ① $A \gg 1$ とし $V' \approx 0$ とおくと</p> $V_o = A V', \quad V' = V_i - \beta V_o$ <p>よって</p> $V_o = A(V_i - \beta V_o)$ $= A V_i - A \beta V_o$ $(1 + A \beta) V_o = A V_i$ $\therefore H = \frac{V_o}{V_i} = \frac{A}{1 + A \beta}$
--------------	---

<p>(3) ④</p> <p>②より $V' \approx 0$ とおくと</p> <p>④より $V_o = -A V'$</p> <p>④より $V' = V_o = \frac{R_f}{R_i + R_f} (V_i - V_o)$</p> <p>よって</p> $(R_i + R_f) V' - (R_i + R_f) V_o = R_f V_i - R_f V_o$	<p>(4) ③より A, β は ω に依存しない。②より $V' \approx 0$ とおくと</p> <p>④より</p> $H = \frac{A}{1 + A \frac{R_f}{R_i + R_f}} = \frac{A(R_i + R_f)}{R_i(1+A) + R_f}$ <p>よって ω の関数として H の全体を求めると</p> $G = \frac{R_f}{R_i + R_f} \times H \times (-1)$ $= \frac{-A R_f}{R_i(1+A) + R_f}$
---	--

④より $V' = \frac{R_i V_o + R_f V_i}{R_i + R_f}$

$$= \frac{-R_i V_o + R_f V_i}{R_i + R_f}$$

よって ω の関数として H の全体を求めると

よって $A \rightarrow A$
 $\beta \rightarrow \frac{R_f}{R_i + R_f}$

※ ④より $V' \approx 0$ とおくと
 全体を求めると
 $H = \frac{A(R_i + R_f)}{R_i(1+A) + R_f}$
 $G = \frac{-A R_f}{R_i(1+A) + R_f}$